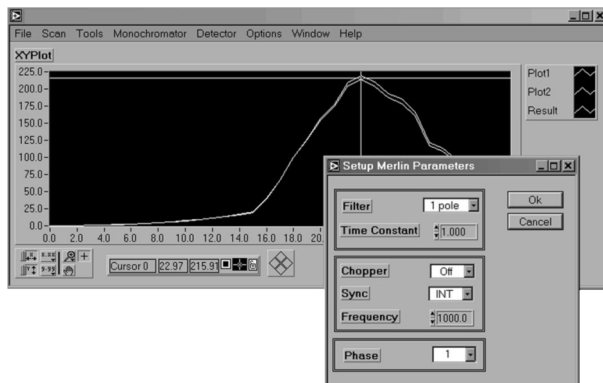


TracQ Basic データ取得／放射分析ソフトウェア

TracQ Basic Data Acquisition/Radiometry Software



ディテクタのパラメータ設定画面

Windows™ プラットフォーム

TracQ Basic™ は、Windows™ XP または Windows 7 上で動作するソフトウェアで、Oriel 計測器との通信には RS232、USB、または IEEE-488 インターフェイスを使用します。実験で各種 GPIB ベース測定器を組み合わせて使用する場合は、PC にナショナルインスツルメンツ (National Instruments) の GPIB カードが必要です。

真の放射分析ソフトウェア

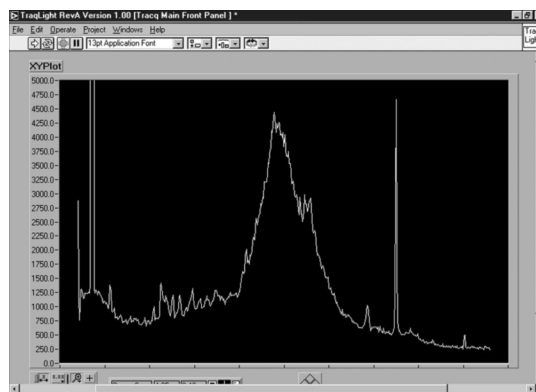
TracQ Basic™ は、放射分析専用のソフトウェアです。試料データまたは参照用データとして収集されたデータから、放射照度比、ディテクタ応答、透過率 (%)、反射率 (%)、および吸光度を計算することができます。取得データに関する簡単な算術演算やさらに高度な放射率 (%) を積分することもできます。データ表示には均等目盛りでも対数目盛りも使用可能であり、プロットを重ねて表示することもできます。

Oriel モノクロメータ、スペクトログラフ、およびディテクタシステムのコマンド制御

TracQ Basic™ で制御できる計測器およびアクセサリ群は下記の通りです。

- MS257™ 1/4 m モノクロメータおよびイメージング スペクトログラフ
- Cornerstone™ 130 1/8 m モノクロメータ
- Cornerstone™ 260 1/4 m モノクロメータ
- MS260i™ 1/4 m イメージング スペクトログラフ
- Merlin™ デジタル ロックイン
- Newport パワーメータ
- QE-PV-SI

- リアルタイムでのデータ取得、処理、および表示
- Oriel モノクロメータ／スペクトログラフおよび各種検出システムの制御
- データに対する簡単な数学関数の実行
- 放射分析測定の実行
- 基本スペクトロスコピソフトウェア

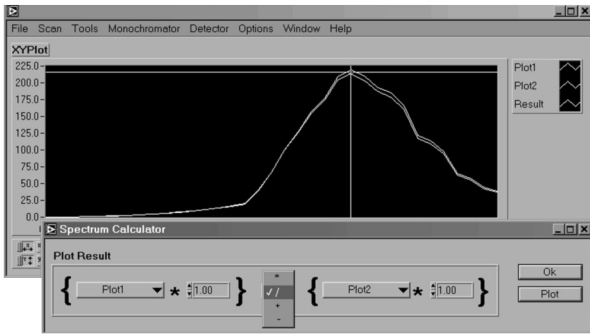


TracQ32 制御で計測器から取得したデータ

計測器のパラメータで簡単なプログラミングを行うことで、途中で人手を介する必要もなく TRACQ Basic™ がデータの取得や処理を行います。TRACQ Basic™ の制御で処理可能なのは、回折格子の切り替えポイント (回折格子が複数ある計測器の場合)、ファイバ ホイール ポジションの変更、モータ駆動スリット制御および計測器切り替えのポイント (出力ポートが複数ある計測器の場合) などです。

スペクトル計算機

スペクトル計算機で、データの後処理をいくつか実行することができます。前記の算術計算に加え、新しく取得したデータまたは参照データ (Oriel のスタンダード ランプ データなど) を、先にセーブしていたデータを読み出して比較すること、すなわち比率の計算ができます。参照データは、ASCII ファイルとして TRACQ Basic™ にインポート可能です。



Tracq32 スペクトル計算機の機能例

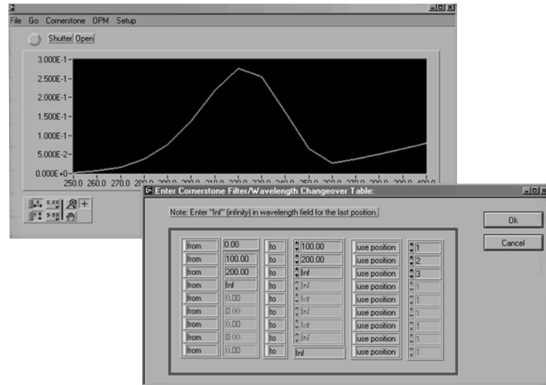
アップグレードとパッチの今後の予定

新規計測器の提供に合わせて、TracQ Basic™ に新しいモジュールを追加していく予定であり、必要に応じて定期的にソフトウェアをアップデートしていきます。アップデート情報については、アプリケーションエンジニアにお問い合わせください。

コンピュータの要件

TracQ Basic は、CD-ROMで提供いたします。オペレーティング システムには、Windows™ XP また Windows 7 が必要です。

各計測器のRS232 COMポートや USB ポート アダプタまたはIEEE-488 インタフェースを介してPC に接続します。必要に応じてインタフェースを2種類まで使用することができます。たとえば、Merlin用にIEEE-488、Comerstone260i 用に USB、MS257 用にRS232などを組み合わせて使用します。



モノクロメータ パラメータ設定画面

発注のご案内

モデル	仕様	Price
77890	TRACQ Basic™ データ取得およびスペクトロスコピー用ソフトウェア	¥36,400



X-Y-Z フォーカス用レンズ アセンブリ

X-Y-Z Focusing Lens Assemblies



- 光源をモノクロメータの入射スリットに結像
- モノクロメータの出射スリットをディテクタまたは光ファイバ上に結像
- X-Y-Z イメージ調整

77259 XY-Z フォーカス レンズ アセンブリ (71305スペーサ チューブを挟み、77720モノクロメータにマウント)

光源を小さな標的に正確に結像させる必要がある場合には、3 種類のアセンブリから1つを選び使用します。Orielモノクロメータやスペクトログラフのスリット、ファイババンドル、キューベット上に光源を再結像させるのに、これらは理想的なフォーカス アセンブリです。これらのフォーカス アセンブリを使用して、モノクロメータの出力をディテクタやファイバ上に結像させることもできます。

2 種類のモデルが利用可能

フォーカス アセンブリには2つのモデルがあり、両モデルともX、Y、Z調整が可能です。それぞれのモデルには少なくとも1つのレンズが必要です。フォーカス アセンブリにはレンズは付属していません。したがって、発注情報の表に基づき適切な焦点距離をもつレンズを選択する必要があります。

モデル 77260

- モノクロメータ出力をディテクタやファイバ上に結像させるのに最適
- ファイバ ホルダと手動シャッタを統合
- 20 mmの開口部

77260 には2つのレンズが収容されます。1つは「集光レンズ」として機能し、光源またはモノクロメータの出射部からの光を平行化し、もう1つのレンズは平行光をフォーカスします (図1参照)。レンズ1は、XとY方向に±3 mm の調整が可能であり、小さな標的 (すなわち、ファイババンドル) 上に結像させるための正確な位置調整に使用します。レンズ2は Z (焦点) を2.9インチ (73.7 mm) の範囲で調整するために使用します。